

## ○（ごおる） 作 岐阜農林高校演劇部

## 【はじめに】

この芝居は、サッカーの「ぼおる」だけ見えない。  
なぜ見えないか、それはこの芝居の題名が「ごおる」であることと関係があるかもしれない。

## 【設定】

舞台は、中国地方を彷彿とさせる、とある市町村。  
海沿いの、ジャガイモの産地「砂畑町」には「海原農業高校」が。そして山間の、メロン栽培が盛んな「山岡村」には、「山岡農業高校」が、それぞれあった。  
両校は、「海岡市」にある第三セクターのターミナル駅「海岡駅」を挟んで対立していた。  
生徒同士の仲は悪く、海岡駅や、共同農場、共同グラウンドで衝突を繰り返していた。  
そんな両校が、合併することになった。

## 【登場人物】

## 《 海原農業高校（サッカーチーム名：ブルーパイレーツ） 》

→地域リーグチーム「ブルーベアーズ」のジュニアユース崩れの者が多い。第一試合では、山農を舐めてかかるが、怪我を押して出場する玉置の心にふれ、第二試合では死力を尽くす。実力が向上した山岡レッドベアーズと死闘を繰り広げる。

- ①玉置しずく P Kで絶対に負けない女子。G K。  
伝説のゴールキーパー「玉置健太郎」の孫。
- ②武 女子。ジャガイモ農家の娘。
- ③まっちゃん 足が速いだけ。ラッキョウ大好き。サイドバック。
- ④貝塚 女子。マネージャー的存在。砂見ファン。
- ⑤藤原 掛け声大好き。大声。唯一、漁師の娘。
- ⑥夏澤 女子。サッカーは出来ない。運動は好き。藤原の友達。
- ⑦月潟 男子。中町のツレ。いつもにやにやしている。キック力はある。
- ⑧西海 オフサイドトラップの名手。あまりたくさん走れない。
- ⑨中町 MF。女子。小さい。いろいろと人間的に小さいが、足が速い。
- ⑩砂見 玉置の幼馴染。リーゼント。センターバックだが、キックオフでいきなり、ゴールを狙うキック力がある。子供の頃から、玉置をずっとずっと守ってきた。
- ⑪松岩 FW。男子。砂見の腰巾着。フェイントが日常的にうまい。うざい。

## 《 山岡農業高校（サッカーチーム名：レッドベアーズ） 》

→サッカーの素人集団。岡森の、山岡村に対するひねくれた愛情にほだされ、猛烈に練習する。実際に実力があるのは小山内と長谷川のみ。（一応、鮎山も経験者。）

- ①鮎山 G K。小学校の時、サッカー部だった。下手だけど、一番サッカーが好きなのは、彼だ。
- ②木立 自然が好き、すぐ鳥の名前を言う。運動は出来ない。
- ③岡森鉄子 元メロン農家の娘。岡森は母親姓で、泉は実父。ということ、本人は知らない。山農の生徒会長。風紀を重んずる超右派。すぐ切れる。人にやらせるのが好き。
- ④吉上 わがまま。まとまりそうな話を元に戻す天才。テニス部、口癖「帰る」
- ⑤富菜 生徒会会計。がめつい。
- ⑥鯉口 野球オタク。あらゆる選手のバッティングフォームのモノマネができる。しかし、人生

- で一度も野球をやったことが無い。そして絶対サッカーをやりたくない。
- ⑦小山内 MF。センタリングとルーレットのプレイヤー。長谷川に惹かれる。
- ⑧熊田 熊の接近に気づく能力は村一番で、マタギも一目置く。サッカーのルールを知らない。
- ⑨谷上 生徒会副会長。岡森のいつも右側にいる。囲碁将棋部。
- ⑩長谷川淳平 FW。PKでは絶対に負けない。ドライブシュートの天才。玉置と惹かれ合う。
- ⑪坂下 生徒会書記。岡森のいつも左側にいる。

《 大人達 》

- 米俵先生 農場長。怒ると怖い。
- 泉 メロン農家。かつては、「闘将」と呼ばれた伝説的FW。メロン栽培とサッカーを教える。
- たまフーズ たまフーズの社長。
- アナ 「駅構内ホームのアナ」「実況のアナ」など、すべてのアナを実行する。
- 銅像 玉置しずくのおじいちゃん「玉置健太郎」の銅像。  
たまに動く。
- 山岡フルーツ  
スポーツ山岡  
うみ寿司  
喫茶ブルーパイレーツ

Scene 1 海岡商店街

この町の真ん中に海岡駅がある。

「お弁当はタマフーズ」のうらぶれた看板がそびえる。海岡商店街  
駅から降りてくる男子高校生がひとり。

柵の傍のベンチで本を読んでいる女子高生がひとり。

6月。16時すぎ、あたりは黄昏時。

海原の制服を着た玉置しずくが本を読んでいる。サッカーの本。

そこへ、山岡の制服を着た長谷川がやってくる。

玉置と、目が合う。

- 長谷川 あの。
- 玉置 ?
- 長谷川 山農ってどっち。
- 玉置 …あっち。
- 長谷川 あざっす。…それ。
- 玉置 ?
- 長谷川 本！ サッカーやんの？
- 玉置 何それ。
- 長谷川 は…、え、何が。
- 玉置 山農どっちって、あんた着てんの山農の制服。
- 長谷川 あっ
- 玉置 山農の制服着て「どっち」って。
- 長谷川 あの。
- 玉置 ばかなの。
- 長谷川 すいません。

玉置 本？ 何。サッカーだよサッカー。私の勝手でしょ。  
 長谷川 聞いて。おれ、引っ越してきた、この町に。  
 玉置 引っ越し？  
 長谷川 あ。この町はじめて。  
 玉置 それ先に言って。  
 長谷川 はい。

**列車の到着を告げるブザーが鳴る。**

玉置 あ、やば。  
 アナ 1番ホームに列車が参ります。この時間帯は、山岡農業生と海原農業生との衝突により大変危険です。

**電車が止まる。**

山農達は、青竹をもっている生徒数名と他数名。駅の向こうからやってくる。  
 海農達は「ぼおる」をついている生徒数名と他数名。

木立 あら——？  
 熊田 あらら——？  
 藤原 山くせえ風が吹いてんなあ！  
 山農 ああああああ！？  
 鮎山 (クンクン匂いを嗅いでから) …磯くせえー。  
 山農 磯クセー。  
 長谷川 これなんすか。  
 玉置 ちょっとかくれるよ。

**鮎山の胸倉をつかむ砂見。**

砂見 もう一回言ってみろ。  
 木立 砂見勝也。リーゼントだ。  
 砂見 (ポーズ) (SE ドドン！)  
 藤原 海農総代砂見勝也、  
 海農 リーゼントパイセン！  
 砂見 リーゼントパンチ！  
 鮎山 うわあああ。  
 松岩 フェイントフェイント、あ、山岡農業高校の皆さんあ、フェイント。  
 中町 よっ！ フェイント屋！  
 月潟 フェイントの松岩！  
 松岩 あ、フェイント。どうも、山岡農業高校の皆さん、お疲れ様！  
 山農 おお？  
 松岩 本日の共同実習、種芋植え付け1000株。  
 山農海農 1000株。  
 松岩 だけれど「山猿山農生」、  
 山農 ああ！？  
 松岩 馬鹿だからやり直し100回。放課後居残り、おつ。  
 海農 おつ。

松岩 対して海原農業生、優秀だから、やり直したったの2回。  
 海農 いえいいえい。  
 松岩 して僕たちは、優雅にサッカー練習の予定でした。  
 吉上 うちら山農に実習やらせて、サッカーとか信じらんない。  
 松岩 この電車で共同グラウンドに行こうしたんです。したら  
 中町 ボールがない。  
 海農 ボールがない。  
 松岩 誰かにとられた～  
 海農 誰だどったの～  
 山農 じゃ～ん。

山農生徒、ぼおるを持っているのを見せる。

海農 あ—————！？  
 吉上 青竹部隊前え！  
 木・鮒・鯉 はっ  
 山フルーツ ちょっとお！ 何してんのさ！

海原側に、うみ寿司店長、喫茶ブルーパイレーツ店長。  
 山岡側に、山岡フルーツの店長、スポーツ山岡。  
 そして、たまフーズ弁当の店長および、アルバイト3名がどやどやと出てくる。

藤原 あっ、すみません。/ごめんなさい。  
 うみ寿司 /またかお前ら。  
 松岩 大将、うちらボール取られたんすよ山猿に！  
 喫茶ブルー おまっ（お前）、山猿はいかんで怒るで山猿たちが。  
 山農 はあああああ。  
 フルーツ山岡 なに言うてまんのや。  
 喫茶ブルー 何やフルーツ。  
 フルーツ フルーツ言うな。  
 スポーツ 山岡の子は何も悪うない。

なんか、町の人でも混ざって大騒ぎ。

たまフ店長 まあまあまあ、ここは皆さん穏便に。  
 アルバイト 穏便に。  
 うみ寿司 たまフーズ弁当！  
 アルバイト 支店長！  
 たまふ店長 （ポーズ）（SE ドドン！）  
 タマフ店長 商店街で争いごとはあかへんよ。ここは、たまフーズの顔に免じて。  
 アルバイト ね。  
 うみ寿司 しゃあねえ。  
 大人たち ね。  
 フルーツ たまフーズさまさまやでな。  
 大人達 たまフーズさまさま。  
 タマフ店長 リーゼント君。今日は私の顔に免じてこのへ

**砂見、リーゼントパンチ。**

店長                   ぶたれたあ、たしの顔、ぶたれた。  
 アルバイト        店長！  
 砂見                 俺らのボール盗んどいて、これどういうことよ！ 山岡あ。どういうことよ。  
 岡森                 別にいつものことよ。  
 藤原                 この声は！  
 山農                 この声は！  
 谷上                 1、2、3、4！（ワン、ツー、スリー、フォー）

**山農生徒は岡森登場の曲を歌う。岡森が、谷上と坂下を従え登場。**

山農                   （♪）山岡農業生徒会、岡森鉄子会長！  
 岡森                   （ポーズ）（SE ドドン！）  
 藤原                   何だよそれ。  
 岡森                   商店街の風紀が乱れています。誰が乱しているか。それは海農、あなた達。そうでしょ。  
 山農側                そうです、そうです。  
 砂見                   よお、岡ちゃん。  
 岡森                   気安く呼ばないで。  
 砂見                   …変わったねえ。  
 岡森                   山岡農業生徒会執行部の威信にかけて、あなた達に天誅を下します。  
 山農側                そうだそうだ。  
 フルーツ             よっ会長。

**全員、拍手。**

岡森                   このボールを、うちの学校で唯一サッカーやっている小山内が蹴るわ。小山内。  
 小山内                はい。  
 岡森                   この子が商店街の向こうまで蹴るから、  
 山農                   は？  
 岡森                   そこまで取りに行くがいいわ。  
 海原                   えーーーーー。  
 喫茶ブルー         ウチの店に当てんなよお！？  
 岡森                   小山内。  
 小山内                いっきまーす。

**小山内、ぼおるを蹴る。そこに玉置が現れ、ぼおるを取る。**

全員                   おおっ。  
 玉置                   ぼおる、返してね。岡森会長。  
 岡森                   はっ。  
 谷上                   玉置だ！  
 坂下                   玉置いたのか。  
 長谷川                玉置！？ えっ、玉置！？

再び小山内が、ぼおるを蹴るも、玉置がとってしまう。

全員 おおっ。  
 喫茶ブルー さすがしずくちゃんや。  
 長谷川 あいつが玉置！  
 松岩 海農の誇るゴールキーパー、地元ユースでも活躍、玉置しずくだ。  
 海農 しずくちゃん！  
 長谷川 女だったのか！  
 玉置 ごめんねー。

小山内、たまたま逆の方向に蹴る。逆サイドを察知し、玉置は、走り込んでジャンプ、セーブしてしまう。

海農 うおおおおおおおおお。  
 玉置 今日はこれで終わりね。このボール、練習で使う大切なぼおるだから。うちらもダメだったし。かっちゃん謝って。  
 砂見 ん。  
 玉置 今日はウチら海農も、あんたら山農さんも、同じ農業高校生ってことで…、お疲れ様でしたあー————。  
 全員 おつかれさまでしたー。

砂見達数名が、電車に乗る。

岡森 ちょっと待って、ちょっと待って、  
 全員 え？  
 岡森 いろいろおかしいでしょ。今日はこれで終わり？ お疲れ様でした？ 何言ってるの。そんなことで、山農と海農の決着はつかないのよ！  
 山農 そうだそうだ。  
 長谷川 じゃあ、その決着、おれが付ける。  
 谷上 何と。  
 長谷川 おれが蹴る。俺登場。長谷川順平です。  
 玉置 長谷川順平。  
 長谷川 あんたが玉置。  
 玉置 そう。  
 長谷川 あんたに逢いに来た。だから引っ越してきた。女とは知らなかったけど。  
 岡森 こいつ誰。  
 谷上 見ない顔です。  
 坂下 転校生かと。  
 長谷川 今日から山農の生徒です。よろしくう。  
 山農 ええええええええ。  
 アナ 次は栄町行き、まもなく出発します。

「プルるるる」と、電車の出発を告げるブザーが鳴る。

長谷川 はい蹴る。

蹴ったぼおるは玉置の頭上を越え、まっすぐ向こうの階段ホールに当たる。  
なんとぼおるは、そのまま、長谷川の所に戻ってくる。そしてワントラップで、ボールは長谷川の足下に。

全員 おおおお。  
小山内 すごい。どうやって蹴ったの。  
長谷川 どいてちょ。  
小山内 あ。(惚れる)

**更に蹴る。スローモーション。**

小山内 ボールが  
全員 ボールが  
小山内 ドライブしてる。  
全員 ドライブしてる。  
小山内 カッコいい～

ぼおるはドライブの弧を描きながら、長谷川の所に戻ってくる。  
**華麗なリフティング。小山内感動。**

小山内 すごおおおおい。  
全員 おおおおおおおおおおお。

**このスーパープレイに、全員が興奮する。**

長谷川 おれが蹴る。このホームのまっすぐ後ろ、そこにいるリーゼントの顔に。  
海農 何。  
砂見 ああ！？  
長谷川 でも、ぼおるは君の後ろを抜ける。  
山農 おおおお。  
松岩 海農ブルーパイレーツの玉置を馬鹿にしてんのか！？  
海農 おおおお。(と誰かが海農の旗を出す)  
長谷川 そう、女にはとれない。  
山農 おおおおおおおお (と誰かが山農の旗を出す)  
玉置 女だと何か問題ある？

**電車のドアが閉まり、砂見は行ってしまふ。**

松岩 砂見さん、リーゼントが挟まっています。リーゼントが挟まって。  
山農 おおおおおおおお。  
長谷川 おれはPKで負けたことがねえ。

**蹴る。玉置がとる。**

玉置 私もPKで負けたことがない。  
全員 おおおおおお！

長谷川           ほんじゃあ俺たち、  
玉置           試合で勝負ね。  
全員           おおおおおお。

構内大興奮！ 生徒達がどんどん集まってくる。

アナ           エブリバディー聞こえるか！  
全員           いえーーーーーい  
アナ           列車の音が、大観衆の音が、そして山を駆け下りる山岡山嵐の雄叫びが  
全員           いえーーーーーい。  
アナ           うみおか駅で出会った2人の男女、これは運命のキックオフ！

長谷川、シュートモーションからのシュート。  
玉置のセーブの刹那、旗が2人を隠す。場転。

## Scene 2 たまフーズ共同メロン農場

旗が切れる。そこはメロンのパイプハウス。ハウスの前には銅像が立っている。  
ハウスの外で海農生徒と山農生徒が並んでいる。米俵先生が来る。

米俵           それじゃあ実習始める。号令。  
生徒           気をつけ、脱帽。  
まっちゃ       鳥！

みんな鳥に夢中。大きくて、青白い鳥だ。(ごいさぎ)  
そこに、強い風が吹く。

一同           うわあ！  
長谷川       すげえ風。  
谷上       だろお転校生。  
小山内       山岡山嵐！ あの鳥と一緒に吹くの。  
坂下       あの鳥、何？  
鮎山       何？  
吉上       木立なに？  
木立       ごいさぎ！  
藤・夏       (ごいさぎのごいがおもしろい) ごい！

「ごい」で盛り上がる。

岡森           ちょっと！ ちょっと待って。たるんでるんじゃない？ 何その「ごい」って。  
誰か       ごい。  
岡森       もうすぐ収穫祭でしょうちら。  
誰か       ごい…。  
松岩       そんなんで、出来んのか山農たち。  
岡森       は？  
米俵       収穫祭は、商店街でやるんや。できな町の人に馬鹿にされるぞ！



岡森 できます。  
 谷上 会長。  
 岡森 今年の主催は山農ですから。  
 山農 ごい！  
 岡森 私が成功させます。  
 山農 御意！  
 米俵 できるんやな。  
 岡森 はい。  
 山農 はい。

### 海農が、この対応を批判。

岡森 …は！？  
 谷上 会長、こんな奴ら放つときしまよう。  
 坂下 実習を始めましょう！ 先生。  
 米俵 そやな。  
 谷上 先生、今日は何の実習ですか。  
 米俵 今日、メロンの交配だ。  
 全員 メロンの交配！？  
 吉上 この時間にハウス～？  
 米俵 暑いぞー。  
 全員 うわやあ～

先生と生徒は、ハウスの中へ。暑い。とにかく暑い。  
 先生は、メロンのうねの奥にいる泉さんを見つける。

米俵 泉さん。  
 泉 …この中でさ、今朝、メロンの人工交配やってくれた人。誰。  
 生徒たち (挙手)  
 泉 ちょうだい。  
 生徒たち は？  
 泉 はい…はい…はい。ちょうだい。お金。  
 全員 はあ？  
 泉 ちょうだい。ちょうだい。  
 砂見 でん。  
 松岩 そんなお金はないと言ってます。  
 吉上 先生。  
 泉 俺は先生じゃない。ただのメロンのおっさん。交配が出来とらんから呼んだの。見とったらんや。お前とお前(谷上、坂下)、雄花と雄花、くっつけとった。はい、死んだ。お前らのせいでこの枝の雌花昨日死んだ。お前とお前(鮎山、吉上)、花粉ついてないのこれ、一昨日の、はい、死んだ。ほんで今日の。熊がやったところ以外全部失敗や。見てみ。ほれ見てみ。

長谷川 熊さん何。  
 小山内 泉さんの連れ子。  
 長谷川 連れ子？  
 小山内 熊田、子供の頃、熊に育てられているところを

長谷川 泉 はあ。  
 小山内 泉 あの泉さんに発見されて、一緒に暮らしてるんだって。山で。  
 泉 ここに 400 株あって、一株から 1 個しかメロンつくらのやて。1 個 3000 円やろ、全部でいくらや。  
 木立 泉 12 万。  
 泉 120 万や。  
 全員 ……  
 泉 だから、弁償しろ。  
 米俵 泉 弁償はちょっと。  
 泉 なら先生が払えよ。こっちは教育とかどうでもいいんじゃ！  
 岡森 泉 泉さん。今日咲いた雌花はまだ生きてますね。  
 泉 ……なんやお前。  
 岡森 泉 10 時まであと 45 分です。  
 泉 そや。  
 岡森 泉 ハーフタイムが終わって後半戦。どうでしょう。  
 泉 できるかよ。  
 岡森 泉 山農は。  
 海農 泉 あ！？  
 山農 泉 あ！？  
 泉 お前、誰。  
 岡森 泉 岡森といいます。生徒会長です。  
 泉 ……下の名前は。  
 岡森 泉 鉄子/です。  
 泉 /いいっすよ。先生、こいつらがあと 4 5 分でこれ全部やれるなら。弁償いいっすよ。  
 先生 おまえら、すぐやれ！  
 全員 はい！

**交配作業が始まる。泉、にやにやししながら、去る。先生をさそって退場する。**

長谷川 玉置 ねえ、あの銅像何。  
 玉置 長谷川 玉置 健太郎。  
 長谷川 玉置 あんたのじいちゃん。  
 玉置 長谷川 玉置 そう。伝説のゴールキーパーにして（株）たまフーズ初代社長。  
 長谷川 玉置 ねえ、てか、何でこの、何、農場？ に、あんの？ あの銅像。てか、だいたい何で、二つの学校で一緒にやってんの？  
 玉置 長谷川 玉置 工場見えるでしょ。あそこに。  
 長谷川 玉置 工場。見える。  
 玉置 長谷川 玉置 あそこ、山農と海農が共同で実習したお金でなりたつとるんやて、それで、この町は潤ってる。  
 長谷川 玉置 でも、喧嘩ばっかやん。

**高いところにある雄花に手でとどかない夏澤。山農笑っている。  
 実は親切な谷上、花をとってやる。**

谷上 玉置 この雄花を小さな君に。

## 夏澤、ムカついて花をすてる。海農リアクション。

谷上 今年、収穫祭やってあげちゃう山農に対する敬意というものが感じられない。いや、親切な私に対する敬意のかけらも感じられない。

山農 (賛同のリアクション)

武 おかしいやん。毎年交代だったら、うちら2年の時に一回しかできんやん。

松岩 全然公平やないやん。

海農 (賛同のリアクション)

坂下 会長どうします！

岡森 あのね～うちらの下の学年は、あなたらと同じよ。一回しかできないのよ！

全員 !

谷上 おお。

坂下 ですね。

岡森 自分たちのことしか考えてない下等人間の発想よ。

海山 (リアクション)

砂見 交配が早いほうが、収穫祭をやる。

全員 !

砂見 勝負で決めよ。

海山 (リアクション)

砂見 どう。岡ちゃん。

岡森 いや！

砂見 (バケツを岡森の頭の上でひっくり返し、頭を花卉だらけにする)  
この雄花を君に。

岡森 は。

砂見 お似合いだぜ。

岡森 馬鹿にするんじゃないわよ！

谷・坂 会長！

岡森 やっておしまい。

谷上と坂下が砂見にとびかかる。砂見がふきとばす。  
そのまま大乱闘になる。  
銅像も参加している。玉置が米俵を連れて走ってくる。

米俵 お前ら、何やとんるや！ こらあ！

全員 ……

米俵 交配で勝った方が収穫祭やる？ 誰やそれ言いだしたやつ！ もうええわ！ 帰れ！ 単位やらん！ 帰れ！

夏澤 先生、弁償は？

米俵 弁償は、せなかん！

藤原 何やそれ！

米俵 何や、じゃあ、俺が弁償するんか！ 俺が…、弁償、するんか？ いや、どうなんや！？

藤原 いや知らんし！

長谷川 (帰ろうとしている)

米俵 何やお前、何帰ろうとしとるんや。

長谷川 帰れって言われたんで帰りまーす。

米俵 何やお前、何や、俺に弁償させたいんか！

長谷川 うっせーな、俺関係ねーだろ。昨日も一昨日も知らねえっつの。  
 米俵 でももうここの生徒やろ！  
 長谷川 一緒にすんなよ。ここの生徒馬鹿ばっかやろ。  
 両校生徒 あぁ！？（侮辱に反応）  
 米俵 お前、ここに来たんやったらここのルール守れ！ その耳の、ピアスも外せ！  
 長谷川 は？  
 米俵 ピアス。  
 長谷川 …。（帰ろうとする）  
 米俵 おい。はずせ（いかせない）  
 長谷川 さわんなて。（ふりきる）  
 米俵 おい。（いかせない）  
 長谷川 ピアス関係ねえだろ。（ふりきろうとする）  
 米俵 おまえ、ここの生徒だろ。（もつれる）

両校男子生徒、間に入る。そのまま倒れる。揉み合い。うねが倒れる。銅像も倒れる。ビニールが破れる。泉も来る。泉に吹っ飛ばされる砂見と長谷川。

泉 出ろ。ハウスからお前ら。出ろ！ 先生。どうすんの。これ。ね、ひどくない。これ。  
 米俵 すいません。  
 泉 何教育してんの先生たち。これ生きてんだけど、どうすんの。  
 岡森 すいませんでした。  
 泉 どいて、お前邪魔。  
 岡森 すいません。（どかない）  
 泉 何なの。これ、お前のせいなの。  
 岡森 はい。  
 全員 ！  
 泉 ふうん。  
 砂見 いや、俺だ。  
 泉 ふうん。で、どうすんの。

岡森が、畝を起こそうとする。皆が続く。  
 一緒に起こす手の中に、たまフーズ社長が混ざっている。

一同 社長！  
 たまフーズ 泉さん、ごめんなさいね。私も悪いの。  
 私がもっと早く決断していたら、違ったかもしれない。  
 長谷川 誰この人。  
 玉置 たまフーズの社長。  
 たまフーズ 健太郎さん、今から、この子たちに、あなたの遺言をお話ししていいですか。  
 一同 遺言？  
 銅像 …（うなづく）  
 長谷川 （小声で）今うなづいた  
 谷上 だまれ。  
 たまフーズ （ごいさぎがとんでいく。）鳥ね。  
 木立 ごいさぎです。  
 たまフーズ 空を飛ぶ鳥から見たこの町、海岡を挟んで、海と山。ここが山だとしたら、この辺りに

山岡村と山岡農業高校。校舎ある？ はい。ここ駅。はい。線路伸ばしてよ。はいはい。で、そっちが砂畑村と海原農業高校でしょ。さあっさあっと、はい。ここ海岡駅と海岡商店街。ここ協同農場。ここ共同グラウンド。ねえ、どうしてあんたたち争ってるのか分かる。(山と海。海岡町をはさんで対峙する)今から50年前には、山岡村なんてなかったの。山には、熊しかすんでなかった。

海農 ○×△(海農は山農をばかにする)  
 熊田 熊ばかにするな！ 熊は私のお母さんなんだよ！  
 たまフーズ そして海農の農産物は、ジャガイモだけ。  
 山農 (海農をばかにする)  
 武 ジャガイモ馬鹿にするな！ ビタミンCいっぱいだぞ！  
 松岩 ジャガイモ農家の武ちゃん！  
 たまフーズ そこへ登場したのが40年前、惣菜工場を建てた、初代たまフーズ社長玉置健太郎さん。

銅像やってくる。たまフーズの説明をマイムでやる。生徒達も参加する。

たまフーズ 玉置さんは、砂地を開墾して、基盤整備をすすめて、農地をつくったの。海農の生徒が来て、人件費をかけずに、生徒が授業で農作業をして栽培をした。そのジャガイモと野菜でお惣菜を作る工場をつくったの。「高校生がつくったジャガイモでつくりましたコロッケ」がコンビニで大ヒットして、町はうるおったわ。たくさんの人が働くようになった。そして、サッカーチームまで作った。健太郎さんはゴールキーパー。そしてこの泉さんが名フォワード。  
 全員 ええ！  
 泉 昔の話だ。  
 たまフーズ チームブルーベアーズは、守護神健太郎と闘神泉のおかげで負けなし。サッカーと農業で町はにぎわった。

全員が出てくる。ブルーパイレーツの「大海原へ」の旗。ハウスが開店し、商店街になる。町の人たちも出てくる。THE BLUE HEARTSの「TRAIN-TRAIN」のサビを歌う。

玉置 健太郎おじいちゃんは、町の人に愛されてた。商店街でコロッケ買って練習していると、人が出てきて、みんなうわーって盛り上がったんだって。私そう聞いている。この町は、みんなサッカーが好きで、本当はいい人ばかりなんだよ。だから、おじいちゃん死ぬ前に言ったんやて。いい試合が町を作るんだって。  
 たまフーズ でも、それは10年と続かなかった。  
 一同 (「TRAIN-TRAIN」を歌う)  
 たまフーズ ある日。二人は喧嘩をした。それは町を巻き込み、海と山は対立した。彼らは山の気候を利用したメロンやトマトの栽培する山岡村と山岡農業高校を作り、町を去った。  
 岡森 違う。追い出したのよ。私達を。  
 山農 そうだそうだ。  
 武 しょうがないでしょ。出て行ったのは、山岡のあなた達だったんだから！  
 海農 そうだそうだ。  
 うみ寿司 あんたら山農さんらには感謝の気持ちがない。  
 喫茶ブルー 君ら就職先どこなの、この町でしょ。  
 うみ寿司 この町に受け入れてもらってんだろ！  
 海側 そうだそうだ！  
 スポーツ 何を！ いっつもこの子らのこと山猿山猿いうて！

フルーツ この子らがどんなに傷ついとるか！  
 山農 ぶえ。  
 喫茶ブルー この子らの働くところ奪つとる分際で！  
 フルーツ 職場いじめしとんのは誰や！

てんやわんや。

たまフーズ そこで健太郎さんは考えた。いつか。再び、もう一度、山と海が仲良くできるように、二つの村をこの町の線路で結んだ。それが今のこの町の姿なの。というわけで、今から健太郎さんの遺言を發表します。(手紙を取り出す) 親愛なる町のみなさん。そして泉君、そして愛する啓子ちゃんへ。この手紙を読むころ。たぶん僕はもうこの世にはいないだろう。

全員 ぶえ。  
 銅像・たま 君には、いつも、面倒なことばかり、お願いしてすまない。(たまフーズ涙ぐむ)  
 銅像 もし、僕が死んでも、海と山が仲良くできないなら、そんな学校は、二つもいらぬよ。君はよくやっている。だから、一つにしてもいいと思う。

全員 ええ！  
 たまフ・銅像 もともと海と山に分かれたのは、ボクと親友の泉君がサッカーで揉めたことが原因だ。  
 銅像 だから、サッカーで決着をつければいいと思う。

全員 サッカーあああ。  
 たまフーズ サッカーで勝った学校を残す。

全員 うお！  
 たまフーズ 負けた学校はつぶす。

全員 ごあ！  
 たまフーズ これでよかったんだ。ってきっと懐かしく思い出す日が来るよ、まる。  
 全員 こねえよ！

### Scene 3 商店街

メロンハウスから、すでに商店街になっている。電車が通り過ぎる音。一方、坂下、谷上がベンチに座って、もさもさとコロッケを食べている。他方、たまフーズ弁当店の「まんまるコロッケ」の幟旗を見ている長谷川。

長谷川 ……まんまるコロッケ。  
 玉置 (店から出てきて) 海岡と言ったら。  
 長谷川 うおっ。  
 玉置 まんまるコロッケ。たまフーズ♪ (CMのメロディー)。  
 長谷川 何それ！  
 玉置 CM。観たことないの？  
 長谷川 CMやってんだ…。  
 フルーツ (商品を運びながら横切る) たまフーズさまさまやでなあ。  
 長谷川 …てか、何個買ってんだよ！  
 玉置 22個。だってこれから練習だから。  
 長谷川 何だみんなの分か。  
 玉置 私の分だよ。  
 アルバイト ！？

長谷川 …実は男だったり。  
 玉置 女だよ。  
 長谷川 …。  
 玉置 ごめんねー。  
 谷上 会長、10人集まったって。  
 坂下 我々を含めて、な。  
 谷上 足りないじゃん。  
 坂下 あの転校生がいる。  
 谷上 転校生かあー。

そこに、二人のもとに、ボールはこぼれて、月潟と西海が来る。泉が、フルーツ山岡に納品に来る。

月潟 蹴れよ。

谷上と坂下、協議した結果、じゃんけんして、谷上が蹴る。かなり逸れる。

谷上 ごめん。  
 月潟 どこ蹴ってんだよ。

西海が坂下に蹴る。坂下の顔面直撃。坂下、悶える。

谷上 坂下！  
 西海 ごめん。  
 月潟 どこ蹴ってんだよ。

どやどやと集まってきていた山農生徒が西海と月潟を囲む。

谷上 あやまれ。  
 砂見 ああ。  
 松岩 試合前に暴力はまずいぞと砂見さんが。  
 谷上 あやまれ。  
 西海 練習しようぜ。リフティング。俺に勝ったら、謝るよ。な。

山農生徒、だれもリフティングができない。  
 それを長谷川が突然奪う。  
 町中がどよめく。

谷上 いいか、俺達には、長谷川くんがいるんだ。  
 長谷川 やんねえよ。  
 谷上 何い。  
 長谷川 それより。泉さん。

泉さん、段ボールを片手に店をあとにしようしている。

長谷川 泉さん、すいません。ああ、いいですか。

泉 ……

長谷川 すいません、僕、とある目的で、この町に引っ越してきたんす。

泉 おれ今いそがしいんだけど。

長谷川 すいません。すぐ終わります。僕が勝ちますから。

泉 長谷川淳平。

長谷川 ……

泉 出てきたの。それとも出されたの。

長谷川 さあ。

泉 玉置か。

長谷川 そうすっね。でもその前に、伝説に勝負しようと思って。

泉 (フルーツ山岡に)あっ、それ、置いといて、置いといて

フルーツ いえ、積んどきます。

泉 触らんといて。

みんな集まってくる。岡森もいる。谷上に事情を聴いている。

長谷川 あの、泉さん。

泉 何。

長谷川 勝負していいですか。

泉 は。

長谷川 伝説に勝てれば、戻れると思うんすよ。

泉 もう年だから。

長谷川、泉にボールを転がす。

長谷川 とります。

長谷川とろうとするが、球は泉の足を離れ、そして、戻っている。

長谷川 !

全員 おおおおおおおおおお。

泉 おれ忙しいんだけど。(ボールを返す)

長谷川 (トラップする)ぬきます。

長谷川、泉の横を抜く。が、泉は一瞬にボールをリフティングしている。

全員 おおおおおおおおおお。

長谷川 もういっかいだ。

泉 おい。玉置、相手してやれ。

玉置 (もぐもぐ)ええ、今いそがしい。

泉 おい、弁当。

弁当 何、泉さん。

泉 今日、あんたの店がゴールね。

弁当 ええー、大丈夫なのお？

玉置 大丈夫だよ。

長谷川 馬鹿にすんな！



泉                   あの弁当屋にボールぶち込めたら、勝負してやるよ。  
長谷川               ふざけんなああああ。

長谷川蹴る。玉置、いともたやすくパンチセーブ。2回目もパンチング。そして3回目、  
渾身の長谷川のシュート。

玉置は、コロッケを放り投げて、キャッチング

全員               おおおおおお。

続けて2回。玉置海農生徒の嘲笑。切れる長谷川。松岩に殴りかかる。とそこに岡森が  
間に入る。

砂見               よお、会長。

岡森               試合前に、暴力はよくないわよね。

砂見               メンツそろった？

岡森               長谷川君。

長谷川             話しかけんな。

岡森               山岡農業生徒会長の岡森です。

長谷川             知ってる。今、俺に話しかけんな。

岡森               長谷川君、サッカーやりたいわよね。あたしたちと。

長谷川             は。

岡森               もう一度玉置と勝負できるわよ。

長谷川             …………。

岡森               入れてあげる。

長谷川             入れてあげる？ 入ってくださいだろ！ お前らみたいな下手くそが、くそが。俺をチー  
ムに入れる。俺は、お前たちとやるために入ってきたわけじゃない。自分のチームに戻  
るために

岡森               負け犬。

長谷川             は。

岡森               あなたの態度が気に入らない。

長谷川             なんすか。

岡森               …ピアスを外しなさい。

長谷川             はあ。

岡森               山農の風紀がみだれます。

長谷川             風紀ってなんすか。

長谷川             はあ。

岡森               私の言うことを聞く。それがチームに入る条件。

長谷川             いやです。

岡森               はずして

長谷川             いやです。

岡森               はずして。

長谷川             いやだ。

岡森               外せ。

長谷川             いや。

岡森               いいから外せ。

長谷川             いやだね。

岡森 いい、これが最後よ。はず/  
 長谷川 いやだああ。最後まで言わせねえ～、サッカーもお前らとかやらねー。  
 岡森 はあ～。いい加減にしやあ。ちょっとサッカー上手いぐらいで、調子こいてんじゃないわよ。もういらんから、あなたなんか。いらん。  
 長谷川 あのね。  
 岡森 いらん。

帰ろうとする岡森を、谷上と坂下が止める。

谷・坂 会長！  
 坂下 山農が、なくなってもいいんですか。

町の人たちも、心配そうにながめている。岡森は去れない空気。

岡森 ……山岡に来たの、後悔してる？  
 長谷川 してないわけないっしょ。  
 岡森 私も後悔してた。  
 長谷川 そう。  
 岡森 (遮って) みんなそうだった！  
 長谷川 ……  
 岡森 ここの子達はいろんな子がいて、猿猿いわれるけど、それは私も含めて、いいえ、私が一番、山猿。  
 長谷川 そうそう。  
 岡森 私は、この山農が最初大っ嫌いだったけど、今の私は、山農が猿っていわれたら怒る。あの、山岡山の千段階段を毎日駆け上がって、学校に朝から来て、いちごやきゅうり収穫したり、牛の乳しぼる、私たち、山農生の気持ちは、誰にもわからない。就職先が、村を捨てて町に来ないと結局なくて、町の人たちに山猿山猿といわれる私達の気持ちはだれにもわからない。だから、みんなわがママが言いたい。

山農生、心が動かされる。

岡森 私も言いたい。私たちの気持ちはだれにもわからない。ここに居る子達は、いろんな子がいる。片親の子、家が貧乏な子、勉強ができない子。私は、両親さえいない。…でも、みんないい子なの。  
 長谷川 わがママだけでしょ。  
 岡森 一番わがママな会長を私がやってる。山農をなくすことは、私がゆるさない。  
 長谷川 ……  
 岡森 サッカーには絶対に勝つ。長谷川君がいれば勝てる。  
 長谷川 勝てないです。  
 岡森 玉置のゴールを割れる。  
 長谷川 ……  
 岡森 山農生として、卒業してほしい。  
 長谷川 ……  
 岡森 一緒に。  
 長谷川 ……

玉置 あげる。

玉置、袋に入った大量のコロッケを鮎山に渡す。

玉置 練習！ …しよっか。

海農 おう。

海農、去る。

長谷川 ひとつだけいいか。おまえら、なんで、こいつに従ってんの。

谷上 従ってるわけじゃねえよ。

長谷川、谷上の顔を見る。谷上が笑う。

長谷川、ピアスをはずす。

鮎山、長谷川にコロッケをかじらせる。

音楽。試合会場へ。

## Scene 5 第1試合

そこは共同グラウンド 海農イレブンの円陣。

砂見 大海原へ

海農 大海原へ

玉置 海岡によせる波が聞こえるか！

海農 オウイエ！

玉置 山岡をおりる風が聞こえるか！

海農 オウイエ！

玉置 守りたいものは自分で守れ！ この町に響け勝利の歌！

海岡 おおおおおおおおお—————

玉置 歌えブルーパイレ—————

海農 お——。お！お！お！お！お！お！お！お！お！お！

観衆「だんだんだんだん」団席をもり立てるイレブン。

そして（着替えがおわった）山農イレブン。

岡森 山岡農業！

山農 おう！

岡森 今日は何しに来た！

山農 かつ！

岡森 海農が怖いか！この町から出て行くか！

山農 のう！

岡森 山農はこの町から出ていくのか！

山農 のう！

岡森 私たちは山岡山嵐。

山岡 がおー！

団席が唱和する。そして試合開始のホイッスル。音楽！  
キックオフ早々に、熊田がぼおるを手で触ってしまう。ハンド。  
熊田はよくサッカーを理解していない。みんなに責められる。

熊田 「わかった。てでさわらなきやいいんだね。」  
審判 「次やったらレッドカードだから。」  
熊田 「レッドカードって何？」  
審判 「レッドカードは退場！」

PK になってしまう。鮎山の前に中町。しかし、中町はシュートが苦手。

鮎山 「無理無理無理無理ー！」

鮎山のパンチング。

鮎山 「俺天才ー！」

長谷川がそれを取り、駆け上がる。富菜とワンツーで敵を躲し、小山内へパス。  
小山内に砂見が迫り、砂見がカット。

アナ 「ナイスクリア！ 山農スローインです。」  
小山内 「スローインで私に渡して。」  
吉上 「うん！ …スローインって何？」  
鯉口 「アンダースローかオーバースローか。」  
富菜 「ゆっくりインする？」  
鮎山 「素人どもめー！ 俺がやるー！」

鮎山がボールを奪い、スローイン。

熊田 「こっちだー！」  
山農 「手ー！！」  
熊田 「足！」

熊田にボールが渡る。熊田、超ロングキック。ぼおるはそのままゴールに向かう。

アナ 「熊田のキックが、海農ゴールに！」

玉置が弾く。小山内が取り、そのままシュート。玉置がそれを弾く。  
長谷川がシュート。しかし玉置、ノールックでセーブ。カウンター。  
砂見は、それをリーゼントにのせて、そのまま海農のゴールを目指す。

松岩 「乗ってる！」  
アナ 「リーゼントの上に、ぼおるが！」  
貝塚 「砂見さん素敵！」

鮎山は、「あー！」と砂見の気を逸らし、ボールを奪う。逆カウンター。

ロングキック。一気に、相手ペナルティエリア付近に。  
 全選手戻るが。長谷川がごぼう抜きする。  
 長谷川そのままシュート。玉置、たたきおとす。  
 こぼれ球を小山内がヘディングで長谷川に戻す。  
 長谷川、ボレーでシュート。玉置はじく。上に上がる。  
 長谷川と玉置、クロス。全員、落下地点に集まる。  
 玉置、セーブ。しかし、玉置が立てない。  
 砂見が玉置の足をみて、長谷川にかけより、リーゼントでビンタ。  
 長谷川、怒る。喧嘩。それが大喧嘩になる。  
 岡森「やめて！」 審判「退場！全員退場だ！」  
 全員、力を失ってグラウンドにいる  
 応援席、観客降りてくる。武に肩を貸された、玉置が泣きながら歌う。

玉置 (歌う)  
 岡森 (歌う)  
 歌 (歌う)

音楽「TRAIN-TRAIN」、サビの直前まで歌い、間奏。

アナ さあ第一試合が終了して、この後一体どのような展開を迎えるのでしょうか。期待しましょう。

収穫祭に彩られた山農校舎が山車のように裏面で出現する。収穫祭パネルが袖から、どっと出てくる。

「山農主催、たまフーズ農場収穫祭にお集まりありがとうございます。まもなく開会式が始まります。」

舞台は収穫祭の会場になっていく。屋外スピーカーから流れる放送。

「まもなく、開会式がはじまります。準備の生徒は体育館に集合してください。」

## Scene 6 収穫祭

収穫祭のパネルはまだ定位置につかない。早朝。

富菜と西海がメロンのトレイを両端で引っ張り合いながら出てくる。

西海 待てやめろって、これ海農のやて。勝手に山農のカゴに入れんなて  
 富菜 ごめん見逃して、手え放して、このメロンもってかんと怒られるんやて。  
 貝塚 どうしたのどうしたの。  
 西海 これ海農の売店に持ってくって言うんやて。  
 富菜 ゆるして、数量足らんのさっき分かったんやて。始まってまうんやて。一番最初の数量間違っとして、今足らんと困るんやて。  
 貝塚 いいやん、…お客さんからしたら、海農、山農のもおんなじやて。  
 西海 それはそうなんやけど。  
 富菜 たすかる～。もってくね。うん。  
 西海 待てって、バレたらまずくね。だって海と山、バチバチやん。  
 貝塚 (渡す、が西海は取り返す) そんなの大人の決めたことやん。高校上がる前は、うちら仲よかったやん。

西海 それは…、そうやったけど  
 坂下 (そこへ入ってくる) おーい。メロンまだ一…なんや海農。  
 西海 …。  
 坂下 メロンどこ。山農のメロン。  
 西海 ……これやよ。  
 富菜 !  
 米俵 おーい開会式はじまるぞ。

**拍手。転換。開会式のファンファーレ。全員並んでいる。**

谷上 開会のあいさつ、山農生徒会長岡森鉄子さんお願いします。  
 岡森 夏の収穫祭を本日開催できることを、生徒を代表としてお集まりのみなさんに御礼申し上げます。今年は山岡農業高校が主催で運営させていただきます。どちらの学校が残るべきか。どうぞお客様の目でお確かめください。山農会長の岡森でした。(拍手)  
 坂下 みなさんみなさんこんにちは、山農レッドベアーズ販売店です。本日は泉農園メロンを中心に、各種園芸作物を取り揃えています。いかがですか。  
 松岩 え～、こちらは海農ブルーパイレーツ販売店です。ほくほくのジャガイモに海農バターをトッピング。いかがですか。

両校の「買わんかね～」が一齐に始まる。袖にはけた、販売演技に関わらない海農生と山農生は袖にはけ、着替えて来場客に扮する。  
 収穫祭は盛り上がる。長谷川がメロンを10個ほど入れた箱をもって、重そうに農場から来る。吉上が来て、長谷川が苦しんだ箱を軽々と片手でもっってしまう。  
 吉上の態度に長谷川は何かを感じる。  
 海農売店が前が出る。  
 ジャガバターを宣伝している。玉置はブースの横に座って、作業している。  
 人混みの中で、長谷川は玉置の足が気になる。  
 どうして、玉置だけ座って作業をしているのか。  
 照明がゆっくり、気が付かない程度に真ん中に絞られていく。  
 玉置と目が合う。玉置が立ち上がって近づいてくる。

長谷川 …。

玉置、足は大丈夫だと示す。玉置はジャガバターを長谷川に渡す。「大丈夫だよ」と言っているように見える。残念ながら、それを小山内は見失ってしまう。両校の売り子の声がひと際、大きくなる。海農売店が下がり、山農売店が前が出る。来客があるが、1個3000円のメロンが売れなくて困っている山農生徒。

谷上 おばあちゃんとかお金余ってるから買うと思うんですよ。  
 坂下 おばあちゃんを探しに行こう。

「社長さんおはようございます」の声。  
 タマフーズ社長がアルバイトを2名つれて、収穫祭の様子をみにきたのだ。

岡森 こんにちは。  
 全員 こんにちは。

タマ 何これ、めっちゃ残っとるやん。  
 坂下 すいません。  
 木立 会長、大変です。メロンが売れません。3000円は高いです。  
 岡森 声出しなさい。声。海農みなさい。ジャガバタ売れてるでしょ！

うみ寿司と一緒に、谷上の祖母（谷上と二役）がひ孫を連れてやってくる。

谷上婆 谷上のばあちゃんですけど、孫いますか？ 安くなりますか？ あり、珠緒さん。  
 タマ あん、谷ばあか！  
 海寿司 因縁の対決や。  
 タマ まだ生きとったんかい！  
 谷上 生きとるわい！  
 町の人 はははははは！  
 うみ寿司 この二人みると、30年前を思いだすんだね。たまさんと谷さんでさ、初代の健太郎さんと泉さんがケンカしたときに、二人して、どっちがかっこいいか。もめてたもんね。  
 タマ 健太郎さんや。  
 谷婆 泉さんやあ、かっこいいのは。  
 泉 きもいでやめろ。ばばあ。  
 谷婆 いたんかい！  
 泉 メロンの納品や。なんや残っとるな。  
 岡森 売ります。  
 泉 そう。  
 岡森 山農はやります。  
 谷婆 この泉さんが、タマさんのコロッケやにドライブシュートきめるってさ、健太郎さんがとめるってさ、みんなで盛り上がったね。  
 タマ 今日の収穫祭であなたたち、海農に負けるようなことがあれば、海農に明日、主催を譲れりなさい。  
 全員 え～。  
 谷上 じゃあ、買ったる。がんばれ山農な。あんなんに負けんな。  
 熊田 ありがとうございます。

谷婆去る。

坂下 会長、このままでは、だめです。メロン売れ残ります。  
 岡森 海農はどうなの。  
 坂下 昼を過ぎましたんで、ジャガバターの動きがとまっています。  
 岡森 今がチャンスね。  
 坂下 チャンスなんすけど、売れませんって。  
 鮎山 こうなったら仕方ありません。会長。値下げしましょう。  
 岡森 いくらに。  
 木立 半額セール！  
 鯉口 下げすぎだろ！  
 谷上 実は、みんなに秘密にしていたことがある。  
 鮎山 いたんかい！  
 谷上 あの、会長。  
 岡森 何。

谷上 実は、おい。ちょっと。来て。こっち。

夏澤と藤原が山農の中に入ってくる。

吉上 藤原と夏澤。

「海農だ。どういうこと。」という声があがる。

岡森 何。

藤原 じゃが・・・メロン。

全員 は？

藤原 じゃがメロン

夏澤 海農のジャガイモでつくったでん粉にシナモンパウダーをまぜてつくった皮に、山農のメロンでつくった餡を入れて焼きました。

鯉口 ? 誰が。

谷上 三人で

全員 は

夏澤 共同で

全員 は

藤原 開発しました。

全員 はあ～

坂下 裏切りか谷上君。

谷上 実は、こいつらと、僕、家近所です。僕家の前で、もらったメロン落っことしちゃって、道の真ん中で割れちゃったんです。ばあんって。距離的にあれじゃないですか。僕の場合、落下距離がその長いもんで。ばあんって

夏澤 で、あたしたちが通りかかって、ただでかいだけやん。って言ったら。

谷上 僕、不覚にも泣いてまして。

藤原 泣くなって話になって、うちらがなんとかしてやるって話になって。そのメロンで餡を作りました。

夏澤 で、これがそのジャガメロン。食べてみてください。

全員 (ジャガメロンを食べる) うまい!

坂下 これうまいですよ。外の皮がパリッとして、中メロンがとろっとして。うまいです。

全員 おお。

夏澤 みんな食べて。

岡森 ちょっといってくる。

岡森は、海農の領域にずかずかはいっていく。

「岡森だ！岡森がきたぞ」という声が聞こえる。海農生徒に囲まれる岡森。

バルコニーで休んでいる砂見に下から声をかける。

岡森 ちょっと、そんな上でだらだらされても困るんですけど。

松岩 宣伝活動が終了して休憩中だ。メロンが売れなくて困っている山農会長が何の用だ。と砂見さんはいってみえます。

収穫祭は夕方にさしかかる。夕方の光が差し込む。

岡森 砂見くん。主催者側からの提案なんだけど。

砂見 ん？



岡森 海農の米と山農のメロンで、ジャガメロンをつくらない？  
砂見 あ？  
岡森 スイーツよ。売れるわ。  
砂見 あ？  
岡/藤/夏/谷 ジャガメロンです。  
砂見 は？  
岡森 へ？  
藤原 私たちがつくりました。  
谷上 僕たち、家が近所なもんで。  
砂見 かん！  
松岩 いかん！とってみえます。  
藤原 松岩。砂見さんさん、今日はよくないですか！ここにある農産物は、海農と山農のみんなで作ったものですし。今日はよくないですか！  
砂見 かん！  
夏澤 山農悪い人ばかりじゃないんですよ。この人ただでかいだけじゃないんですよ。  
砂見 いいけど。  
夏澤 いいの！  
松岩 砂見さん！  
砂見 まあ、何、うちらも売れなくて困ってるし、おにぎり儲けほとんど入れてないから、大福はいいよ。でもさ、うちの玉置はけがをしたわけじゃん、この落とし前はどうかしてくれるの。  
岡森 落とし前って、  
玉置 かつちゃん。うちほとんど、治ってるよ。ねえ。  
小山内 治るわけないじゃん。  
玉置 あ。ジャガメロン、うちらにも食べさせてください。  
岡森 そうね。

**岡森が砂見にジャガメロンを投げる。受け取る砂見。**

砂見 ……（食して）うまい。  
一同 おお。

**岡森が手を手出す。**

一同 おお！  
藤・夏 砂見さん！  
岡森 ……  
谷・坂 会長……

**砂見が手を出す。握手。**

全員 おおおおおおお。（拍手）  
藤・夏 （「TRAIN-TRAIN」、歌う）  
谷・坂 （歌う）  
藤・夏 （歌う）  
谷・坂 （歌う）

海農 (歌う)  
 山農 (歌う)  
 全員 (歌う)

Scene7 校舎裏

校舎の向こうでは、メロン大福を売る。山と海の生徒の声が聞こえる。  
 夜のとばりが広がっている。

長谷川が来る。メロンの箱を持っている。吉上と鯉口が来る。

吉上 何しとんの。(長谷川から箱を奪う)  
 長谷川 あのさあ…、さっきから何。  
 岡森 (入ってくる)どうした。  
 吉上 岡森が言いたいことわかるけど。こいつ、自分がいないとおまえらダメだみたいな態度でしょ。  
 長谷川 してない。  
 岡森 吉上、がまんして。  
 長谷川 がまんて何！  
 吉上 うちのこと、こころの中で、ばかにしてるでしょ！  
 長谷川 してない！  
 吉上 そういう態度やん。軽いやんいい加減やん。みんな、馬鹿だけど真面目にやってんだよ。  
 岡森 わかったから、やめて。  
 吉上 会長さ、あんだけ今まで海農に馬鹿にされ続けてきたのに、何、仲よくやってんの。今までのなんだったの。  
 岡森 それは。  
 吉上 いこ。片付けやて。  
 岡森 ねえ、ちょっと、ちょっと  
 長谷川 ……  
 岡森 みんな、あなたとどうつきあっていいかわかんないから。  
 長谷川 もういいっすよ。  
 岡森 長谷川くん。  
 長谷川 どこでも同じなんすよね。前のチームでもどこでも。  
 岡森 とりあえずここにいてね。私なんとかするから。  
 長谷川 いやです。  
 岡森 私は、そんなこと考えてないから。

岡森行ってしまう。そこに、玉置が足を引いて現れる。  
 中町が氷嚢をもって後ろからついてくる。

長谷川 ……  
 玉置 あ、あ、大丈夫だから、ほら、(左へ跳んで見せる)ほら(右へ、痛みをこらえている)。  
 中町 ほらじゃないでしょ！  
 長谷川 おい。  
 中町 今無理したら終わりだって、医者に！  
 玉置 言われてない言われてない。  
 中町 …いきましょう。(ふたり行く、中町の雰囲気には圧倒されて、長谷川はついいけない。)

松岩が現れていた。

松岩 玉置の足は治っちゃいない。右足はギプスのままだ。そんなこと、海農の連中はみんな知っている。みんな知ってるけど、いわない。玉置はそれでも試合に出る。

長谷川 (遮って) 消えろ。

松岩 右に跳んだら、玉置の足は終わりなんだってよ！ なあ。

長谷川 ……。

松岩 お前はどの面下げて次の試合でんの。

長谷川一人になる。武ちゃんが来る。武ちゃん、たばこの箱を出す。  
影にいる長谷川が見えない。長谷川、たばこの煙を吐く武ちゃんを見る。  
武、長谷川と、そこで目が合う。

武ちゃん 互いに、うまくいかないね。

長谷川 お前それ…、や、まずいだろ。

武ちゃん いいの。どうせ私、この町出てくから。

長谷川 は？

武ちゃん 学校辞めて、どっかで働く。

長谷川 何で。

武ちゃん たまフーズがつぶれるから。

長谷川 は？

武ちゃん シストセンチュウって知ってる？

長谷川 セン…？

武ちゃん どんな薬も効かない最悪の害虫。ジャガイモ作り続けた土にわくの。  
卵が土の中にたくさん出て、根絶には30年以上かかるってお母さん言った。

長谷川 どうなんの。

武ちゃん タマフーズはコロケが作れない。この町は終わる。

長谷川 ……。

武ちゃん だからウチ、この町出てく。

武、長谷川に近づき、たばこを渡す。

武ちゃん …長谷川君も、終わったんでしょ。

たばこが煙をあげている。  
たばこを持つ長谷川のところに岡森が走ってくる。

岡森 ちょっと、何やってるの。

長谷川 いや、ちょっと、火つけてみただけ。

岡森 吸おうとしたでしょ。

長谷川 してねえ…吸ってねえ。

米俵 おい。そこで何しとるんや。それなんや。

長谷川 吸ってません。

米俵 は。

長谷川 吸ってません。

米俵　　なんでたばこの火ついとる。いってみろ。おい。  
長谷川　　ついて、ついてました。  
米俵　　ついてました、つけたんやろうが！  
長谷川　　たまたまありました。  
米俵　　たまたま、なんでたまたまで煙草に火がつくんだいってみろ！  
長谷川　　……  
米俵　　なら、質問を変える。吸ってないんだなあ。火がついていたんだなあ。でも吸おうとしただろ！  
長谷川　　……  
米俵　　おまえ、試合出場停止！/  
岡森　　/違います。私が吸ってしました。  
全員　　！  
米俵　　何いっとるや。  
岡森　　私が吸おうとしているところを、長谷川君に止められました。  
長谷川　　はあ！  
岡森　　長谷川君だまっとして。  
米俵　　何うそいっとるんや。  
岡森　　うそじゃあません。  
米俵　　谷上。岡森たばこ吸ったか。  
谷上　　吸ってました。  
長谷川　　おい！  
谷上　　僕みました。  
長谷川　　おい！  
全員　　…  
長谷川　　は。  
坂下　　吸ってました。会長吸ってました。長谷川くんは罪をかぶろうとしているだけです。  
岡森　　私が吸いました。会長として責任を取ります。  
長谷川　　何いったんだよお！  
米俵　　だまっとして！岡森！もう吸わないって約束したんじゃないのか！何回も何回もたばこで謹慎くらって、学校やめそうになって、それでもここまでがんばって来たんじゃないのか！  
岡森　　(涙をぼろぼろながしながら)すいません！  
米俵　　(涙にだまされる)自分を変えたいから、もう吸わないから、生徒会やって、会長やって、自分も変われば、山農も変わるって、約束したんじゃないのか！  
岡森　　すいませんでした。  
米俵　　こい！指導部室！おまえら戻れ。(連れて行く)まだお客さんいるだろ！収穫祭終わってないだろ！  
長谷川　　いくなあああ！俺が行くだろ！(鮎山がとめる)こらあ！こらあ！岡森—————。

谷上が長谷川の胸倉を掴んで、言葉にならない声あげて押し倒す。「会長が、会長が、おまえに、おまえさ、」馬乗りになり殴ろうとする。坂下が谷上にしがみつき、引き離し、倒れる。

坂下　　なぐるな谷上！お前がなぐったら、俺もなぐってしまう！ここでけんかになったら！試合がなくなってしまう！山農が、なくなってしまう……

そんなことわかってる。長谷川は大声を出してない。とまらない。  
 収集がつかない山農。海農の生徒の何人かが、山農生徒を引きおこそうとする。  
 収集がつかない。吉上が「あんたがめちゃくちやにしたんだ！」と長谷川に詰め寄る。  
 しかし、砂見が長谷川の首根っこをつかんですさまじい力で壁に吹き飛ばす。バン！

全員 ……  
 砂見 これであいこだ！  
 長谷川 ……  
 砂見 海農が残るのか。山農が残るのか。勝負で決めよう。

音楽。

## Scene8 特訓

熊田が木の上からメロンハウスで作業している泉に話しかける。

熊田 おっちゃん、だからさ、そういうわけだからさ、ねえ聞いている。  
 泉 聞いてね—————。  
 熊田 おっちゃんにコーチしてもらわないと山農は勝てないんだって。山農つぶれたらメロン  
 さ誰がやるんよ。  
 泉 おれひとりでやる。  
 熊田 おっちゃんがウンて言わないから、みんなわけのわかんない特訓はじめちゃったでしょ。

疲労困憊の体で、駆け上がってくる山農選手たち。

熊田 千段階段、本当に往復してきたの！  
 谷上 お願いします。今、みんなで、千段階段、往復してきました。  
 全員 ○×△  
 谷上 俺達、根性みせました。  
 長谷川 おれ、6回往復しました！  
 谷上 おれは3回です。  
 全員 わ、×た、○××  
 谷上 山農のコーチを○×△やって  
 泉 いや。  
 全員 ××△△。

岡森が木の上に現れる。熊田気づく。

熊田 会長。いいんですか？

富菜、鯉口が気づく。「しっ。しっよ。」ぶんぶんうなづく。  
 長谷川、小山内からボールをもらい、不意にボールをける。泉、トラップ。

長谷川 勝負してください。抜きますよ。もう階段のせいで、足 棒です。膝がくがくです。でも  
 あんたに勝つ。  
 泉 なにそれ。

長谷川 勝てば、下手じゃない。  
 木立 勝てないって。  
 長谷川 おれは、山農生として、こいつらと卒業する！  
 全員 ！  
 長谷川 だから、お前は、おれの学校のコーチをやれ。勝ったらやれ！ 以上だ！ 鮎山！  
 鮎山 あい！

**鮎山は木の前に立つ。**

長谷川 先にあの木にあてたほうが、勝ち。

抜く長谷川、泉が奪う。つっころぶ長谷川。すぐ立ち上がり奪おうとする。攻防。  
 勝てない、長谷川消耗が激しい。立てない。  
 米俵先生が来る。

鯉口 先生だ。  
 米俵 なにこれ。

**対決が続く。**

泉 おれは町を捨てた。  
 長谷川 知ってます。  
 泉 友達も捨てたし。女房も捨てたし、子供も捨てた。  
 長谷川 知ってます(長谷川立ち上がる)  
 泉 名前も捨てた。  
 長谷川 武田泉だ！  
 米俵 ……。  
 泉 ！  
 長谷川 武田泉、玉置健太郎、あんたらに懂れて、俺は、この町に来た！

長谷川抜く。泉のカット。ボールが高く上がる。  
 上がったボールが、木の上の岡森に届く。岡森。ボールをキャッチ。

全員 会長。  
 熊田 みつかった！  
 米俵 岡森、お前謹慎中やろ。  
 全員 ……。  
 米俵 聞いとったか。  
 岡森 ……。  
 米俵 降りて来い。

**岡森が降りてくる。**

米俵 武田さん。もういいんじゃないですか？  
 泉 聞かれちったあ。

岡森達が、そばに来る。岡森はさっき蹴られたボールを持っている。

先生 この子、みんなの犠牲なって、今度の山農の試合があるんです。  
 全員 !  
 先生 岡森。  
 岡森 はい。  
 先生 お前の名前、前は武田だったやろ。  
 全員 !!

岡森、ボールをもって、泉の前に立つ。

岡森 ………私。…お父さんいないんですよ。「泉さん」。  
 全員 !  
 岡森 お母さんも死んじゃっていません。死んじゃった頃は、私グレちゃってひどかったんですけど、今はこの町でみんながいて、元気にやっています。この子たち、片親の子とか、家が貧乏な子とか、勉強が出来ない子とか、そんな子たちがここにいるんです。……この階段から山岡の村、全部見えるんですね。…見てくれてたんですね。……あの、私達のコーチをやってください。

岡森、ボールを渡す。泉、うけとる。そして第2試合。

## Scene9 第2試合

アナと応援席の掛け合いの中、散会してく両チーム。

長谷川 小山内。お前キックオフ入れ。  
 小山内 どうするの。  
 長谷川 玉置はたぶん右に跳べない。玉置を守ってるあのタワシ頭さえ躲せば俺たちが勝つ。

ホイッスル。と同時に山農は一斉に攻め上がる。  
 が、その瞬間、砂見が現れ、ボールを奪い、超ロングシュート。

小山内 嘘！ なんでこんなところに！？  
 アナ ディフェンス最終ラインにいるはずの砂見が！ 砂見が！  
 砂見 愛！———シービー———エムウウウウ！  
 アナ ロングシュート！

小山内パニック。砂見はそのままロングシュート。全員が砂見の弾道を見上げる。  
 鮎山呆気にとられる。なんと決まってしまう。大歓声。

アナ ごおおおおおおおお。エブリバディ聞こえるか。この大歓声！最初に決めたのは海農！砂見選手アイシービーエムシュート。  
 全員 おおおおおおお。  
 アナ 守護神玉置しずくを前に、この先取点は大きい。山農いきなり絶体絶命かあああ。

海農生砂見の周りにあつまってくる。

砂見 先に点を入れた方が勝つ！  
海農 勝つ！

鮎山、失意、小山内は泣きそう。  
フォローを入れる長谷川。場内騒然。

鯉口 ドンマイドンマイしまっぺいこう！

再びキックオフ。  
吉上や木立、富菜たちがパスをつないで、広く広く、サッカーをしていく。  
海農選手があたりに来ると、すぐにパス。パスがつながっていく。  
パスが上がり繋がっていくごとに歓声がどんどん大きくなっていく。

アナ エブリバディ聞こえるか。山農生徒のチームサッカーに観客がわいているぜ！

谷上、そして、坂下とつなぐ。海農選手は来るが、深追いをしない。  
そして小山内につながり、小山内切り込む。

長谷川 けえ。小山内。  
アナ そしてエース小山内。切り込む。そこに海農選手4人。

長谷川とクロスして右サイドに走りこむ小山内。すると突然、藤原、夏澤、まっちゃん、  
武の4枚でつぶしにくる。たまたま、逆サイドから助けに来た長谷川にパス。

小山内 長谷川！  
長谷川 はいきた！

西海が来る。が、深追いしない。ゴールまでもつれるが。もつれない。

長谷川 どうして足を出さない。こいつ。何を考えてる。  
西海 撃てよ。  
長谷川 撃つよ！ 玉置！  
アナ 長谷川、ロングレンジで撃ったああああ！

玉置の左に打つ。ドライブシュート。砂見が止め、月潟がクリア。  
海農生が、みんなで玉置を守っている。

アナ 砂見ナイスセーブ。月潟ロングクリア！  
玉置 みんな…。  
西海 一点もいれない。  
長谷川 そういうこと。  
西海 玉置も俺達も割れない。  
小山内 一点もいれさせないつもり。  
谷上 どうすんのこれ。  
長谷川 全員あげろ。



坂下 後ろ三人残して、あがれ！  
 小山内 うん。あがって！ みんなあがって！

吉上のスローイン、ボールは木立へ。

アナ さあ試合は降り出しに戻って、再び山農ボール。

木立から鯉口へパス。貝塚が詰めるが、鯉口は富菜へパス。そして富菜から吉上へ。  
 貝塚は翻弄される。吉上がロングパス。小山内。

アナ 小山内オーバーラップ！

小山内に、海農3人がかりで当たり、苦し紛れのセンタリングは、長谷川に届かない。  
 長谷川を、松岩がマンマーク。こぼれ球は月瀉や西海がカットする。

長谷川 くそっ！  
 小山内 もう一回！

試合は何度も振り出しに戻る。小山内がオーバーラップ。センタリング。  
 だが長谷川、囲まれてクリアされてしまう。海農がディフェンスに徹する作戦に出る。  
 何度もダッシュを繰り返す小山内の息が持たない。

小山内 もう一回！  
 吉上 でも小山内！  
 小山内 私、走るから！

小山内もらう。後ろにまっちゃんと武ちゃん。ルーレットで二人切る。大歓声。  
 が、小山内も息が持たない。

長谷川 小山内！

長谷川にぼおるが届く、が、シュートは決まらない。  
 そのまま、前半終了。玉置が長谷川に駆け寄る。

玉置 どういうつもり？ ……そおいうのダメだよ！  
 アナ 前半終了、海農のディフェンスが深い。重い。1点が重い。

山農選手。泉の周りに集まる。声が出ない。

泉 メロンくうか。メロン。元気出るぞ。  
 谷上 どうしたらいいですか。  
 坂下 海農つええ。  
 吉上 たまフーズ社長だ。  
 全員 ？

向こうサイドラインの海農イレブンのところには、

たまフーズ社長が来る。  
海農勢、ロッカールームに下がっていく。

泉 あの子、玉置はだぶん、右に飛べない。だから左に球があつまるように、右に重いディフェンスラインを海農はしいてる。長谷川くんはいつでも。左のゾーンに推される。左から蹴っても玉置にセーブされる。でも。(泉は、長谷川をなぐる)

全員 !

泉 右にドライブを撃てよ!

長谷川 右には打たない。

泉 右に打てば、玉置はとれない。

長谷川 いやだ。

泉 そういうサッカーな、関わってる人間全員、迷惑すんだよ!

長谷川 しらねえよ!

泉 あ、誰のための蹴ってんだてめえ!

木立 泉さん、小山内が。

坂下 おい。大丈夫か。おい。

谷上 過呼吸だ。

全員 ……

長谷川 ……

泉 誰のために蹴ってんだよ! (倒れてタオルを顔にかぶり過呼吸傾向におちいって横になっている小山内)

長谷川 ……

泉 こいつがどういう気持ちで、センタリングしてるかあ、わかるかあ! ああ!

小山内 (呼吸音が鳴き声に変わる)

長谷川 知ってる。

泉 馬鹿野郎!

木立 無理だよ。そんなのさあ。

坂下 木立泣いとる。

木立 試合に勝たなきゃいけないけど。相手を殺す方向に蹴るなんて無理だよお!

泉 そうだよ。普通出来ねえよ。でもそれをやれって言ってんだ! 俺は、怪我を押して出場する健太郎を殴って止めた。でも、その結果町がどうなったか、お前らだって知ってるだろ。手加減していい試合が出来るか! 「いい試合が、いい町を作る。」右へ蹴らなきゃ、ここで蹴らなきゃ、みんなが不幸になる。玉置は守るぞ。健太郎の孫は、死んでもごおるを守るぞ。

岡森 (応援席から) おーおーおーおおおっおっおっ

山農 (唱和する) おおおおおおーおーおーおおお

谷上 会長だ。

山農の雄叫びが聞こえる。応援席を見つめる山農生徒。  
小山内ふらふらと立ち上がる。応援席。盛り上がる。  
気が付くと、玉置がグラウンドのサークルに入る。

玉置 長谷川淳平!

山農の応援がやむ。

玉置 長谷川淳平！

**長谷川、出る。長谷川と玉置、センターサークルで対峙。大衆環視。**

玉置 はじめて、駅であった時のことおぼえてる？

長谷川 うん。

玉置 あの時、長谷川君に会ってなかったら、私は今ここにいなかった。

長谷川 なんで。

玉置 私あの時、この町を出ようとしてた。

長谷川 えっ。

玉置 海農か山農かを決める試合、たまフーズは親戚だから聞かされてた。私がいれば絶対に海農が勝てる。残るって。…私いなくなろうって思った。私がいるからこの町が壊れるって思った。でもそこに長谷川君が現れた！ …見て。良い試合が、良い町を作る。おじいちゃんが言ったことは本当だった。

**長谷川の手を取る。**

玉置 本気で蹴るそうです。

**歓声と拍手の音上がる。**

玉置 蹴って。本気で。いい試合にしよ。

ハーフタイム終了のホイッスル。大歓声。

ピッチに戻る選手たち。木立はまだ泣いている。

肩をたたく長谷川。木立は、長谷川に呼び止め、空を指さす。二人は、空を見上げる。

アナ エブリバディ聞こえるか！ この大歓声が。1点リードの海原農業高校、山岡農業高校に風は吹くのか。それを決めるのはサッカー！

木立はポジションへ。ホイッスル。長谷川は空を見てから、走り出す。

長谷川に届く、パス。つぶしに来る海農選手をかわしながら、長谷川の思考が始まる。

長谷川 おれは、左に、左に蹴る。右に蹴れば、右に飛ぶ球は、君の足をだめにする。君は、きっと立ち上がれなくなる。右はだめだ。でも。

小山内 こっち。

**松岩と対決。死闘。小山内に渡す。**

**逆サイドに切れていく小山内。**

長谷川 小山内。

小山内 左に入って。おとす。

長谷川 左に。

松岩 左だ。つぶせ。

長谷川、広がる。松岩が追う。右が空く。まっちゃんを躲して、サイド攻撃の小山内。

小山内 長谷川君、どうするの。私が右におとしたら、長谷川君はどっちに蹴るの。

心臓音。スロー空間。玉が上がる。見上げる長谷川、鳥が飛んでいる。

長谷川 鳥から見たら、俺達はどうみえるんだよ。俺は、どう見えるんだよ。教えてろごいさぎ。  
小山内 撃て！ 長谷川淳平！

長谷川、シュート。スロー空間。

長谷川 行け！ 大きく左！（蹴る）  
アナ 長谷川選手、ドライブシュート！ またしても左！

玉置、追跡態勢に入る。全員の視線が左に動く。

アナ 大きく左に！ またしても左！  
長谷川 ごいさぎ、連れて来い！ 山岡山嵐！

突風。弾道が左から右に大きく変わる。

長谷川 右に決まる。君は間に合わない。

玉置、左へのステップを止める。

玉置 （にっこり笑う）私、長谷川君のぼおる、見えるよ。  
長谷川 やめろ…。  
玉置 ごめんね………ありがとう。  
長谷川 おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおーーーーー。

玉置、右にジャンプ。時が動き出す。玉置、右にジャンプセーブ。もんどりうって倒れる玉置。長谷川のシュートとナイスセーブに観客は総立ち。拍手と歓声。

アナ エブリバディ聞こえるかこの大歓声！ これがサッカーだーーーーー。

玉置は立ち上がれない。海農生徒が集まる。タンカが運ばれる。玉置退場。砂見が主審に話す。聞き及んだ山農生徒が割って入る。

アナ 何事か言い争っています。何を話しているのでしょうか。彼らの声が聞こえません。

主審が手をあげて、ホイッスル。観客は騒然。

アナ なんと試合終了のホイッスルです。海農が、なんと試合を放棄しました。守護神玉置の退場で海農、試合放棄。山農に3点があたえられ、山農勝利。混乱です。混乱が続いています。

鮎山 最後までやれ。最後までやれよ。砂見、さっきごおるきめたじゃないか。やれよ。

山農生徒達、海農生徒に言いよる。

砂見 すまん。  
 鮎山 何だよ。  
 砂見 すまん。  
 鮎山 何あやまってんだよ。  
 松岩 勝っても負けても、つぶされるのは海農なんだ。  
 全員 はあ  
 坂下 なんで。  
 谷上 (つかみかかる) 何わけわかんないこと言ってんだ。試合放棄たあ、どおいうことだ。  
 おいおい！  
 松岩 るせえ知るかよ。  
 谷上 ああ！  
 藤原 山農と海農のどっちかをつぶすっていうのは、たまフーズがつぶれることから始まってんだよ。  
 全員 えっ。  
 松岩 だけど潰れるのは海農。砂畑の土はもうダメとか、センチュウとか、教えてもらったの昨日だよ。

海農の生徒のほとんどは泣いている。

貝塚 明日から、このグラウンドもショベルカーが入るんです。  
 全員 ！  
 貝塚 今日で、このグラウンド終わりです。  
 岡森 そんなのおかしいでしょ！  
 鯉口 なんで試合した！ なんでだまってた！  
 砂見 最後に！ みんなで試合をすれば、みんな仲良くなれるって。玉置がいったんだ！ だめか。これだめか！  
 小山内 試合が終わったら、町に引っ越した家族のどこいくって言った。  
 武 え、そおなの／  
 岡森 ／谷上！  
 谷上 はい。  
 岡森 すぐに生徒議会招集！ 坂下！ 海農生徒会に連絡。  
 坂下 はい！  
 岡森 このグラウンドに、明日の工事の前に人集めて！ 抗議集会！ 人集めて！  
 坂下 やりますか！  
 岡森 やる。  
 砂見 岡ちゃんうるせえよ！  
 岡森 何よ。  
 砂見 そういうことは、みんなで挨拶してから……全員整列。…全員整列！

海農生徒がうずくまって倒れている。

山農生徒が立たせる。全員集まる。町の人に向かって。

砂見 僕たちは、けんかしていました。けんかです。お互いのことがだいきらいでした。でも、

この試合で、このグラウンドで、僕たちは試合でお互いのことがわかりました。みんな大好きです。だからみんなに、お礼をいいます。

ありがとうございました。

全員 ……

砂見 ありがとうございます。

全員 …ありが、…とうござい

砂見 みんなみんな、ありがとうございました。

全員 ありがとうございました。

電車の発進の音が聞こえる。小山内がグラウンドの真ん中で倒れている長谷川に叫ぶ。

小山内 ……長谷川——！ いつまで寝てるのお。そこ布団ないでしょ。玉置、行っちゃんうんだよ。走ってよ。立ってよ。追いかけてよ。がんばってよ。あの電車いかせていいの！ 順平ちゃん。玉置ね。あんたのこと好きだったんだよ。あんたが右に絶対に蹴らないって知ってて。知ってて、つらかったんだよ！

砂見 （「TRAIN-TRAIN」を歌う）

若者達か口ずさむ音 （続いて歌う）

だんだんエネルギッシュに歌う若者達。

長谷川が立ち上がる。そして全力疾走。誰かの名前を叫びながら。

場転。電車の音。

電車に乗っている玉置。列車の窓を過ぎていく田園風景。窓の外を町の光が飛んでいく。

窓を開けようとする玉置。足がうまく動かない。

窓がうまく開かない。

開けてくれる手がある。

長谷川。

長谷川 どこまで行くの。

玉置 ……。

長谷川 もう、この町には戻らないの？

玉置 …（うなづく）。

長谷川 いい試合が、いい町をつくるんだろ。

玉置 もう、終わったんだよ。

長谷川 終わってない。

玉置 …、

長谷川立ち上がる。なにか見つける。窓を開ける。

長谷川 まだごおるじゃないって、さ。

トレインが雄叫びを上げる。

彼女のいた町が、それに応える。

終